

広報

陸別

2007.7
平成19年
No. 556

- ◇ 町政執行方針
- ◇ 教育行政執行方針
- ◇ 消費者対策通信



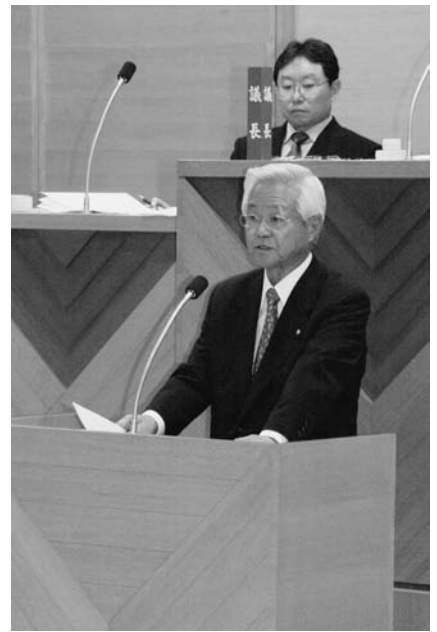
あついねー、つかれたね

保育所遠足 6.4

町政執行方針

平成19年陸別町議会 6月定例会の開会にあたり、町政執行についての所信を申し上げます。

先の4月22日の陸別町長選挙におきまして、5期目の職務を担うこととなり、その責務の重大さを認識し、町議会議員の皆さん、町民の皆さんのご理解とご協力をいただき、町政の執行に全力を傾注してまいり所存であります。



私は、就任以来、「優しさのあるまち」「活力のあるまち」「創造していくまち」この三つを基本姿勢として取り組んでまいりました。

1 「優しさのあるまち」につつましては

陸別の豊かな自然の中で、町民が優しい想いを持つて、営みを追求できるまちづくりであります。

町民が、今、何を考え、何を求めているかを把握し、それらに敏速に親切に答えていく、町民の目線に合わせた施策展開を課題とします。

2 「活力のあるまち」につつましては

小さくとも他町に比して

「個性豊かな光るまちづくり」を目指します。

基幹産業の農業、林業を積極的にサポートし、安定的な発展を目指します。

商工業を取り巻く情勢は厳しいですが、関わる皆さんの熱意と個性豊かな挑戦に対して積極的に応援し、起業の創出と雇用の拡大を課題とします。

3 「創造していくまち」に関しましては

陸別の地域特性であります「緑多き自然と大地、澄みきった青空と星空、寒さと人」を資源とした、町民の知恵と参加の協働でのまちづくりを課題とします。

以上の三つを基本として、私は、今まで以上に大きな責任を背負って、この難局に町民の皆さんと共に立ち向かう決意であります。

国の情勢と陸別

今日、政府は消費に弱さが見られるが、景気は着実に回復を続けているとの認識の基に、経済の成長強化を図りながら、行財政改革を断行する政策を展開しています。

この政策により、都市と地方の生活者の実態、企業の体力、自治体の財政等、全てにおいての格差が拡大しています。

これらの状況下で、この間陸別が自立していくための数値目標を示した、17年度から26年度までの「自立推進プラン」を策定し、このプランを指針として、町民の参加と協力を頂きながら18年度まで町政の改革を進めてきました。

17年度・18年度の2年間のシミュレーションと執行実績の比較ですが、歳出につきましては人件費、物件費、扶助費については数値目標の中の執行を達成しました。建設事業費につきましては、町内の経済情勢を配慮し、目標を約65%上回る執行としてきました。

一方、歳入は12年度31・5億円の地方交付税が16年度22億円と4年間で9・5億円の大幅な減少の要素を組み込んだシミュレーションとしていりましたが、全国市町村の反対行動と国税収入の落ち込みに歯止めが掛かり、17・18年度は約22億円台と下げ止まりとなり、シミュレーションの数

値目標を大きく上回る地方交付税の交付がされました。

結果としてこの2年間で、地方交付税の下げ止まりと、公共料金の引き上げ、人件費の抑制、簡素で効率的な行財政改革を進めてきましたが、この改革に對しまして、町民の皆様のご理解とご協力を頂いた成果によりまして、16年度末の基金残高に對して、18年度末の基金残高は約2・6億円増の約37・4億円が確保される状況に至りました。

これからの課題

しかしながら19年度以降の町の課題は山積しています。酪農を取り巻く情勢の悪化への対策、森林の未立木地増加対策、雇用の確保対策、トリアリ営農用水施設の改修、小中学校の耐震化対策、子育て支援策、高齢者・障害者に優しいバリアフリー等の対策、ふるさと銀河線清算後の活性化策等、多くの課題があります。今後これらの事業の実施に当たっては公平感を大切にして、施策順位と適正規模での展開を進めて参ります。これらの施策課題には大きな財源が伴いますので、事業

実施に先立ちまして、「自立推進プラン」を19年度内に見直しを行い、20年度以降の計画的な町財政運営に裏打ちされた基での施策の展開を図って参ります。

19年度の当初予算は骨格予算として、経常的な経費と実質的に継続事業となる臨時的経費、年度当初から事業が執される新規事業について予算の措置をお願いしたところであります。

本補正予算案は、事業の緊急性、優先度を計り、ご提案をさせていただきましたが、主な項目ごとに私の方針と19年度の新規事業、継続事業についてご説明申し上げます。

1 行財政改革

当町の地方交付税は17年度から下げ止まりの傾向にありますが、国の地方交付税の予算ベースでは18年度5・9%・19年度4・4%と確実に削減されています。従って、役場の「サービスコスト」への効率化と意識改革をさらに高め、「民間に出来ることは民間に委託する」を基本とし

て民間への雇用の移行を進め、役場のスリム化・効率化を進めて参ります。

さらに、十勝全体の課題として今年度発足の税の滞納整理機構に続き、消防事務組合の十勝一元化への統合に対しても積極的に推進を目指して参ります。



19年度以降の多額の費用を要する町民生活に欠かせない基盤整備の達成のためには、行財政改革が重要な課題と位置づけて推進して参ります。

19年度予算では、スクールバスの全路線委託、天文台の委託範囲の拡大、社会体育施設等の管理委託の拡大を実施して参ります。

次年度スタートする後期高齢者医療制度の電算システムの整備に係る予算を計上しておりますが、19年度まで民間に委託していました、町道民税・国保税の課税業務につきましても、後期高齢者の電算システムと同様に、北海道町村会のG-TAWNシステムへ移行して、今後の課税業務コストの削減に必要な経費を計上いたしました。

2 保健福祉施策の推進

本町の未来を託すための子育て支援であります。人口減に伴い少子化も進んでおり、本町の出生者数も昨年度では20人を下回り、今後この状況が続くものと思われま

す。また、児童が被害者となる痛ましきや児童虐待などが報道されている今日であります。これからも、地域全体で子どもと子育てを支え、安心して生活を送ることが求められています。

乳幼児医療に係る助成としては、これまで初診時一部負担金を単独支援して参りましたが、更に家庭生活の経済的安定や乳幼児の福祉の増進を

図るため、小学校就学前まで子どもの医療費を全額助成したいと考えており、そのために必要な経費を計上いたしました。

本町の子育て支援は、本年4月から指導員を配置し、育児に関する相談及び子育て情報の発行、子育て家庭の交流、子育てサークルや子育てボランティアの育成、一時保育の提供など各種事業の展開を進めます。

また、発達の障害やひきこもりなどの相談に応じ、適切な助言や指導を行うための体制を教育委員会や学校との連携を図りつつ進め、地域全体で子どもと子育てを支援する体制を築き上げてまいります。

次に、本町の高齢化率は34%に達しています。更にこの割合は増加して参ります。歳を重ねるとともに、心身機能も低下し、見守りが必要とする方や支援の必要な方も増えてきます。

特に認知症高齢者の方に対しては、町民の方に認知症に対する偏見をもたず、正しい理解を持って頂き、町民各層から参加をお願いし、見守り

を重点とした「徘徊高齢者等の見守りネットワーク」を立ち上げ、認知症の方々が徘徊しても安心して家に帰れるようにサポートする体制を構築し、安心して生活ができるまちづくりを進めます。

障害者福祉につきましては、「陸別町障害者福祉計画」に基づき、障害のある人が自らの選択により、必要なサービスを利用しながら地域生活が続けられるよう、本町が実施する地域支援事業の充実を図ることとし、小規模作業所を地域活動支援センターとして指定し、助成を進めて参ります。

保健事業につきましては、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、市町村国保、健康保険組合等の医療保険者には、20年度から糖尿病等の生活習慣病に着目した検診及び保健指導の実施が義務付けられました。

この実施に向けた準備として、保健師、栄養士が主体となって、個別健康教育や集団指導を行う、国保ヘルスアップ事業に取り組んで参ります。

3 基幹産業の活性化

農業振興

日本の農業に対する国の政策は常に不安定であります。陸別の将来のために、最も重要な課題は農業の安定した経営の持続です。昨今の飲料乳消費の減少と二国間経済連携協定により発生する、農業分野への負の煽り等の不安定な状況が次々とつくり出されようとしています。

これらの要因に対処する施策について、JA・酪農家・町の3者による充分な協議を踏まえて敏速な対処策の展開を図ることによって、他町に負けない寒地農業の推進を進めて参ります。

さらに、遊休農地の有効活用策としての特定法人貸付事業、20年度完了予定の資源リサイクル事業後の新たな農業基盤整備事業計画の策定、営農作業の分業化と高齢化に対応するコントラクター事業等の育成強化と新規就農対策、トラリ営農用水施設の老朽化と源水悪化による施設改修事業の立ち上げを推進して参ります。

19年度の農業関係予算では平成18年2月樹立した「陸別町酪農・肉用牛生産近代化計画書」の目標達成のため、町からの貸付金を原資として、JA陸別町が家畜飼養農家へ家畜導入資金を貸し付ける優良家畜導入支援事業、十勝農協連が実施する「十勝家畜農畜産物生産履歴システム」のうち「乳温遠隔監視記録端末」の導入費用の一部を助成する事業を実施するため、必要な経費を計上いたしました。

また19年度予算を伴うものではありませんが、新制度であります、JA陸別町が貸し付ける農業経営基盤確立資金融通事業に対して、今後利子補給を行ってまいります。

井戸を掘り、水量などを調査し、一定の結果を得られたことから、20年度に道営事業として採択されるよう、施行申請に係る必要な経費を計上いたしました。

新規の農道整備事業として、延長約800メートルの「殖産地区」基盤整備促進事業の調査計画に着手するため、20年度実施にむけた必要な経費を計上いたしました。

林業振興

近年、16年の台風18号・18年の低気圧による風倒被害が発生しましたが、跡地の造林が進んでいない状況にあります。この原因としては高齢級主伐への変化によって経済林としての魅力の低下、育林への補助金の手薄さにあると考

えます。地球の温暖化、治山・治水対策として、国・北海道に対して造林事業への対策の強化に向けての要請活動を強めます。さらに、森林整備は地域の雇用に大きく寄与します。

これまでの町単独施策であり、民間造林事業への補助制度と雇用促進の制度について継続します。

ふるさと銀河線清算後の鉄道保安林について町有林としての施策計画の策定を整えて、今後育林の事業を進めて参ります。

町有林事業につきまして、国有林分収林、町有林を森林環境保全事業の補助事業として、また指定災害補助事業として昨年に引き続き予算を計上いたしました。

昨年度の集中豪雨により災害が大きかった林道ポイントマム川沿線に「ポイントマム地区」小規模治山事業を新規に導入して、山林や林道の保全を行うための必要な経費を計上いたしました。

林道整備事業については、林道宇遠別線をコテージ受付から銀河の森民宿までの約240メートル区間を1車線から2車線へと拡幅し、今年度は約100メートルの整備を行うための必要な経費を計上いたしました。

4 商工業と活性化施策

陸別の自然・気象条件を資源として活用し、町民の知恵でまちづくりを推進して参りました。町内既存企業・町民に

良い影響を与え、雇用に寄与する新たな起業に対しては積極的に応援をして参ります。

道の駅周辺はバス転換により観光バスの乗り入れに支障を生じ、そのため道の駅への入り込みが減少しています。駐車場の再整備、バスタッチの増設、旧駅構内で旧列車等を有効活用した事業、元町方面から駅前地区への連絡道も組み込んだ道の駅周辺整備を進めます。

名古屋大学太陽地球環境研究所により18年度宇宙天気観測所が設置されました。今後、新たな宇宙関連の観測施設等の誘致を推進します。さらに、日産自動車陸別試験場18年度整備の完了を受けまして、試験と施設管理に係る方々の居住施設の建設について、日産自動車への要請と協議を進めて参ります。



トラリ地区営農用水事業につきましては、昨年度は試験



5 生活環境の整備

国道・道々・河川の整備

高齢化の進む当町で、生活し続けるための条件として、陸別で求めきれないサービスを受けるための移動する道路網です。特に医療関係では都市と短時間で結ばれることが重要な要件です。

北海道横断道は「北見・小利別間28km」が18年度着手されましたが、「足寄・小利別間51km」は「抜本見直し区間」で着手の目処が着いていません。北海道・関係市町村が連携し「北見・小利別間」早期完了と「足寄・小利別間」の早期着手を強く要請して参ります。

国道・道道の整備につきましては、新町国道歩道拡幅整



備（佐々木林業から陸別橋）を19年度から着工します。その後、陸別橋から旧銀河線ア

ンダーパスを経て東一条との交差点までの歩道拡幅整備と急カーブ・急勾配の改良整備が施工されます。以降栄町郊外までの歩道拡幅整備の要請をして参ります。

道道津別陸別線は妙法寺地先から陸別中学校まで視界不良改良と歩道整備が着手されます。さらに、下陸別地区のカーブ改良等の要請をして参ります。

長年の要望で有りました、斗満川・利別川の合流点から緑町団地までの間の河川改修が19年度より着手されます。さらに、近年大雨による河川災害が多発しています。復旧に敏速な対応を要請して参ります。

町道・住宅等の整備

国道の整備に合わせて、共栄第一（角谷氏宅地先）から旧藤本商店までの通学道路の歩道の整備を進めます。

国道・道道と連携し市街地区のバリアフリー化の整備計画を策定します。さらに、町民の要望と財政状況の判断の

もとに町道の計画的な整備を図って参ります。

昨年度から実施しております、町道トマム原野支線と町道若葉1号線が、今年度で事業が完了するため、必要な経費を計上いたしました。

交通安全事業であります町道東1条仲通りに関しては、町道共栄線と町道下陸別連絡線との交差点改良工事等に係る必要な経費を計上いたしました。

新町団地内にある町道新町5号通りを「新町団地」特定公共賃貸住宅の建設と合わせながら、道路整備に必要な経費を計上いたしました。

住宅整備についてであります。新町団地の建て替え事業で、19年度3棟6戸、20年度1棟2戸の特公賃住宅建設と5戸の分譲地、公園の整備を21年度完了に向けて推進します。さらに、入居者の動向により次の計画の検討をいたします。

既存墓地の残区画が少なく、旧陸別保育所跡地を墓地用地として現況測量を行い、20年度区画の造成を目指します。

陸別火葬場は老朽化が進み、町単独または広域による建設のあり方について、検討を進めて参ります。

旧勲祢別塵芥処理場でストックヤード業務を行っていましたが、19年度より全面委託するとともに、ごみストックヤードの作業及び一時保管施設建設の費用を計上いたしました。

6 学校教育環境の整備

小学校・中学校の整備では、校舎の耐震化を目指します。平成19年度陸別町耐震改修促進計画を策定し、20年度小学校の耐震耐力度診断から事業を進めます。両校の同時改修は残念ながら出来ませんが、事業の推進のスケジュールを策定し、計画的に実施していくための経費を計上いたしました。

小中学生で、学習障害・発達障害等のある児童・生徒に適切な教育を行う支援員一名を小学校・中学校を兼務して配置いたしますので、所要の経費を計上いたしました。

中学校コンピュータ教室（平成10年度導入）のコンピ

ューター機器の更新と小学校・中学校職員室の全教員用コンピュータシステムの新規整備のため、必要な経費を計上いたしました。

19年度から文部科学省が進める「放課後子供教室推進事業」と現在実施している「学童保育事業」について、今後、陸別として全小学生を対象とした「放課後子供教室推進事業」のあり方の検討を進めて参ります。

カナダ・ラコムへの中学生等海外研修派遣事業と冒険体感inとうきょう派遣事業は継続事業とし、必要な経費を計上いたしました。

7 社会教育環境の整備

快適な環境の中で利用できるよう各施設整備を図ります。19年度は水泳プールの大規模な改修を行い、水泳シーズン前の完成を目指します。尚、各社会教育施設の管理については民間委託の推進を図って参ります。

史跡ユクエピラチャシ跡保存整備事業は、町の財政状況を考慮し、縮小して20年度の完成を目指します。

8 診療所の運営

国保開寛斎診療所の運営につきましても、昨年の診療報酬の改定や患者動向により減収となっており、一般会計からの繰入も増加している現状であります。収支改善にはなお一層の努力を重ねつつ、町内一箇所の診療機関として町民の皆さんに対し、安心して住み続ける重要な施設でありますので、医療体制の確立維持に努めて参ります。

9 簡易水道と下水道事業

簡易水道につきましては、昨年度に続き町道東1条仲通り、町道緑町4号線の配水管整備事業と新町団地建設に伴う給水工事を実施するための必要な経費を計上いたしました。

下水道につきましては、衛生的な生活環境と豊かな自然環境を保持する目的で、6年度に事業着手し、供用開始地区内の水洗化率は82・1パーセントになっております。19年度は、浄化センター内の機器施設を台帳整備し、適切な維持管理を進めるための必要な経費を計上いたしました。

た。

以上、6月補正予算案に係る説明とさせていただきます。陸別は、今までにないこの厳しい情勢下で、課題に対処しなければなりません。私は、情勢の開示・参加・協働を基本的な考え方として、町政を進めます。今期の政策選択の判断は今まで以上に、後世への多大な影響となつて問われます。私は、身を引き締め、全力で、この難局に臨み、責務を遂行する所存であります。以上が、6月定例議会にありましての所信であります。議会並びに町民の皆様の一層のご理解と協働のご支援を心からお願ひ申し上げます。平成19年度の町政執行方針といたします。

平成19年度主要事業 (6月補正分)

単位:千円

事業名	事業の内容	事業費
歯科診療所改修事業	ボイラー更新等	3,630
町有林野管理事業	秋地拵 16.8ha	8,170
後期高齢者医療電算システム導入事業		4,586
町づくり推進事業	空家解体・まちおこし補助金	9,950
デイサービスセンター改修事業	屋根塗装、ボイラー更新	5,270
乳幼児医療費助成事業	小学校入学までの乳幼児衣料費無料化	450
保健センター内子育て親子広場設置事業	備品、施設改修	676
墓地整備事業	予定地現況測量	1,397
ゴミ分別作業庫建設事業	鉄骨造 198㎡ (下勲祢別旧塵芥処理場)	8,525
食の安全・安心確保事業	バルク乳温監視システム (乳温記録通信装置)	3,102
優良家畜導入支援事業	肉用牛・乳用牛・農用馬導入資金貸付	98,000
トマム5号線道路改良事業	調査設計負担金 L=800m	5,625
上陸別地区営農用水施設改修事業	配水池流量計更新他	7,598
トラリ営農用水施設改修事業	改修事業計画の予備設計	1,099
小規模治山事業	ポントマム地区	13,502
林道改良事業	宇遠別線改良及び拡幅	21,973
道路維持補修事業	町道維持補修 (小利別2号線他)	12,950
橋りょう維持補修等事業	橋りょう補修 (通学橋他)	3,399
道路整備事業	若葉1号線、東1条仲通り、新町5号通り、トマム原野支線	183,110
公営住宅改修事業	新町団地排水1棟、緑町団地屋根3棟	3,373
地域住宅交付金事業	新町団地特公賃住宅3棟6戸建設 既設公営住宅火災報知器設置	101,084
建築物耐震改修促進計画策定事業	計画策定委託	3,070
救助用ゴムボート購入事業		608
簡易水道配水管整備事業	緑町4号通線 L=85m、東1条仲通り L=151m	15,367
高齢者見守りネットワーク事業	デモ貸出用GPS携帯電話通信料	40

教育行政執行方針



平成19年陸別町議会6月定例会の開会にあたり、教育行政推進の重点を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

ご承知のように昨年12月教育基本法が約60年ぶりに全面改正され、教育の目的や目標など、これからの教育のあるべき姿、目指すべき理念が明確に示されたところであります。

また、政府の教育再生会議では、抜本的な教育再生のために、様々な観点から提言を行っているところであり、国を挙げての教育改革がより一層進められようとしております。

それから、今年度の十勝管内の教育推進のテーマは「明日への目標をもち、夢に挑戦する子どもを育てる」「安心」「信頼」「来遊」の3つのパスワードを広げ、つないで、であります。

このような状況や十勝管内のテーマを踏まえながら、教育委員会といたしましては、学校、家庭、地域との連携を推進し、「家庭は温かく」「学校は楽しく」「地域は明るく」を合言葉にして、本町の恵まれた豊かな自然や地域の特性を生かした教育行政の推進に努力してまいります。

以下、平成19年度の主要な施策の概要について申し上げます。

その1は「学校教育の推進」であります。

「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校づくりの推進」を重点として取り組んでまいりたいと思っております。

一点目の「確かな学力の向上」についてであります。

子どもたちに基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの確かな学力を育むことが最も重要な課題であります。

陸別小学校での毎日の「朝学習」と「算数科における複数指導」や、陸別中学校での選択教科の中で苦手を克服する「チャレンジタイム」は、基礎学力の定着を図るために大切な学習でありますので、継続しながら指導内容の充実を図ってまいります。

また、道教委の委託事業でありますステップアッププロジェクトについては、2年目になります。確かな学力の向上の

ための実践的な調査研究を継続してまいります。

特殊教育については、本年

4月から障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育支援を行う特別支援教育への転換が図られましたので、今回学習支援員を配置する予算を計上いたしました。

既に実施しております発達支援専門員の派遣と併せまして、特別支援教育の推進に努めてまいります。

二点目の「豊かな心と健やかな体の育成」についてであります。

相手を思いやる心、互いを認め合いともに生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する心、美しいものに感動する心など豊かな人間性や社会性を育むことが大切であります。

そのため、子ども一人一人が自分自身や未来を見つめ、人間として必要な道徳性を養うために、道徳教育の補助教材として文部科学省が作成した「心のノート」の計画的な活用を図り、子どもの心に寄

り添った指導や心に響く「道徳の時間」のさらなる充実に努め、併せて社会奉仕活動などを実践してまいります。

また、読書は子どもたちに豊かな感性や情操、そして思いやりの心を育む上で大切なことから、陸別小学校の朝読書を継続し、併せて読み聞かせを通して読書活動の充実を図ってまいります。

いじめの問題については、「どの子どもにも、どの学校においても起こりえる」ものであるという認識のもと、「いじめは人間として絶対にゆるされない」という意識を一人一人の児童生徒に徹底し、早期発見・早期対応を第一として学校全体で取り組み、組織的な指導体制の充実をさらに進めてまいります。

さらには、学校、家庭、地域を始め関係機関との一層の連携を図り、子どもたちが発するサインを見逃さないきめ細かな対応に努めてまいります。

また、「健やかな体」を育成するために、薬物乱用防止教室の開催や、食に関する指導の充実にも努めてまいります。

三点目の「信頼される学校づくりの推進」についてであります。

教育は、子どもたちへの深い愛情と、学校、家庭地域が相互の信頼のもとに、地域社会全体が子どもたちの成長を願ひ協力し合つて行われることが大切であります。

そのためには、校長のリーダーシップのもと、教職員が一致協力して、保護者や地域住民からの強い信頼と協力を得ながら、教育活動に取り組んでいかなければなりません。

各学校では、学校、たよりの地域回覧や地域開放参観日、ホームページの開設、学校評価を実施し、結果の分析及び公表を通して、その思いや願ひに応える授業づくり、学校づくりを進めてきているところであります。

これからも、各学校の教育活動や学校運営の状況について保護者や地域の方々に対して、積極的に情報を提供しながら、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進してまいります。

さらには、直接子どもへの教育を担う教員の資質は、教育

の成否を左右するものでありますから、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の活用などを図りながら、資質向上に向けて取り組んでまいります。

また、教職員の服務規律の保持につきましても、機会あるごとに注意を喚起してまいりましたが、昨年度は管内において悪質な交通違反・交通事故が発生したところであり

日頃から児童生徒に対して交通安全を指導している教職員自らが交通法規に違反し、種々の交通事故を引き起こすことは、絶対にあつてはならないことでもあります。

今後とも機会あるごとに注意を喚起いたしましたして交通違反や飲酒運転の根絶、わいせつ事故などの信用失墜行為の未然防止について指導の徹底に努めてまいります。

次に、特色ある教育活動といたしましては、引き続き「小中学校連携教育推進事業」を実施してまいります。

小学校と中学校が相互に連

携を図り、教員同士が協力し合い、学びの連続性や接続の円滑化を図り、児童生徒理解を深め、学習指導や生徒指導、学校運営の改善を図る研究を実践しながら小中連携しての研究会を開催してまいります。

次に、児童生徒の安全確保についてであります。登下校時における児童生徒の安全確保については、日頃の児童生徒に対する指導をはじめとして、「通学路の再確認」や「通学路安全マップの作成」「安全教室」を開催して指導の徹底を図っております。

また、町公用車によるステッカーや青色回転灯設置車による啓発、事業所のパトローラーによる啓発も実施をしてきているところであります。



今後とも、地域の大人の目で子どもたちを見守り各関係機関と情報の共有化を図りながら、安全確保に努めてまいります。

次に、教育環境の整備についてであります。

陸別小学校・陸別中学校のコピー機が、老朽化のため更新をする予算を計上いたしました。

また、平成10年に導入しました陸別中学校の教育用コンピュータを更新する予算を計上いたしました。これにより情報教育の推進に努めてまいります。

さらに、新規に先生方に対して公務用パソコンを配置する予算を計上いたしました。これにより教材の活用と効率化を図つてまいります。

次に、学校施設の耐震化についてであります。

今年度町が策定いたします陸別町耐震改修促進計画に基づき進めてまいります。

その2は「社会教育の推進」であります。

今日の少子・高齢化の進行や、国際・情報化の進展の中、ライフスタイルの変化や価値

観の多様化、さらに生活水準の向上や自由時間の増大により、生涯を通して健康で生きがいのある人生を過ごすことが求められています。

そのために、人生の各年代において健康で文化的な生活が営めるよう、住民ニーズを的確にとらえ、学習やスポーツ、文化に親しむ機会の提供など社会教育の推進に努めてまいります。

具体的には、家庭教育学級、プッチョタイム、わくわく体験教室、ことぶき学級、社会教育講座などを引き続き実施してまいります。

また、ボランティアで運営されています「放課後遊びを楽しむ会」の支援も継続してまいります。

陸別町独自の子どもたちへの素晴らしい体験事業として小学生段階で平成13年度から実施をしている「冒険体感inとうきょう派遣事業」は、都市圏との学校間交流や都市機能が実感できる体験事業であります。

また、中学生段階で平成4年度から実施をしているカナダ・アルバータ州・ラコーム

町への「中学生等海外研修派遣事業」は、国際化時代に対応した貴重な体験ができる事業であります。

子どもたちの体験は、豊かな人間性や社会性を育てる源泉であり「生きる力」を育む基盤でもあります。このように、この二つの事業は、子どもたちに感動と実感を与える素晴らしい体験事業でありますので、これからも町部局と密接な連携を取りながら進めてまいります。

その3は、「文化の振興」であります。

文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人生を送る上で、大きな力になるものであります。

このため、文化団体が行う自主的な文化活動への支援や、文化祭の開催など文化協会と連携を図りながら進めてまいります。

ふるさと劇場は、町民に優れた芸術文化の鑑賞の機会提供に努め、平成元年度に活動を開始してから昨年度まで76回の各種公演を開催してまいりました。

今後とも、会員の皆様と一

緒になって、創意工夫を重ねながら、鑑賞機会の提供や運営協力に努めてまいります。

次に、公民館の運営についてであります。

公民館は、町民のための学びの場や交流の場であります。

図書をはじめとして視聴覚資料等町民の皆様が、自ら学べる環境を整えるべく努力しているところであります。

今年度は、公民館だよりの発行や除籍図書の無料配布を実施しまして、公民館の利用促進を図ってまいります。

また、学校図書との連携により、児童生徒向けの図書の充実も図っていく所存であります。



その4は「文化財の整備」であります。

現在から未来に向けての文化発展の基礎となる文化財につきましては、文化財保護法

の本質的な趣旨である保護と活用の責務を果たし、先人の努力によって保存されてきた関寛齋をはじめとする開拓の歴史や、国史跡を代表とする本町の恵まれた文化財があるべき姿で後世に残していかなければならないものと考えているところであります。

史跡ユクエピラチャシ跡の保存整備事業につきましては、平成14年度から国庫補助による整備を継続しており、遺跡保存の段階を終了したところであります。

今年度からは、環境整備を継続しながら住民参加型の整備を中心とした事業計画の見直しをすることにより、日本を代表する遺跡の景観の演出と、来訪者の利便性向上を進めてまいります。

また、発掘体験学習を実施することにより、整備段階でしかできない活用事業を行い、発掘調査で出土した文化財の展示方法を検討すること

によって遺跡の理解を広めるとともに、将来に続く遺跡保護活動においても住民参加ができる素地を築いてまいりたいと考えております。

陸別町開拓の祖にあたる「関寛齋」につきましては、医者として、開拓者として信念を貫き通した幕末から明治にかけての歴史的な人物であり、その生き様は、今なお私たちに多くのメッセージを投げかけています。

また、関寛齋を顕彰する関寛翁顕彰会の活動は、町内の関連遺跡の整備や、関連地域・団体との広域交流活動において一人一人の結びつきを大事にする丁寧な活動だけでなく、関寛齋が歩んだ歴史だけでなく、その精神をも後世に伝える町民主導の重要な活動であると考えます。

関寛齋の開拓精神とともに、この顕彰活動に敬意を払い、引き続き活動支援をしてまいります。

その5は「スポーツの振興」であります。

明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で、スポーツの振興は欠かすことができ

ません。

町民一人一人が、日常生活の中で、積極的にスポーツ活動に親しみ、健康と体力の維持、増進を図っていくことが必要であります。

本町においても高齢化社会を迎えた今日、町民の健康への自己管理意識が高まり、パークゴルフ、ミニバレー、ウオーキング等が普及し定着しています。

今年度も、スポーツの集いや、パークゴルフ大会、ミニバレー大会などの各種大会を引き続き開催してまいります。

今年度で第40回目を数える「町民スポーツレク大会」は、町民が一堂に会し、スポーツレクリエーションを通じて親睦と融和を図ることを目的として開催してきた伝統のある大会であります。

今年度も自治会を始め、体育連盟のご協力をいただきながら、40回目の記念大会として開催する所存でありますので、町民の皆様のご協力をよろしく願います。

体育施設の整備につきましては、今年度は町民水泳プー



ルの改修工事を実施いたしません。
 予算につきましては、当初予算で計上しており、既に発注済みでありますので、工事完了後オープンをいたしまして町民の皆様の利用に供してまいりたいと思えます。
 また、体育施設全体の維持管理につきましては、引き続き管理経費の縮減に努めてまいります。
 これからも体育指導委員や体育連盟・スポーツ少年団さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民一人一人が生涯にわたり、健康で活力ある生活を営むことができるよう、スポーツ施設の有効活用や、スポーツを楽しむ機会を提供に努めてまいります。

以上、平成19年度の教育行政の主な施策について申し上げますが、これからも学校、家庭、地域や各関係機関と連携を深め、理事者との緊密な連携のもとで、職員一丸となつて積極的な教育行政を推進し、町民の付託に応えるよう努めてまいりますので、今後とも町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。教育行政執行方針といたします。

教育関連 平成19年度主要事業 (6月補正分)

単位:千円

事業名	事業の内容	事業費
小学校教職員電算システム整備事業	教員用パソコン購入	3,724
中学校教職員電算システム整備事業	教員用パソコン購入	3,285
中学校教育用コンピューター整備事業	生徒用パソコン更新	8,387
中学生等海外研修派遣事業		6,698
冒険・体験inとうきょう事業		1,220

消費者対策通信

H19-1号

産業振興課
商工業振興担当

訪問電話勧誘販売で契約をしたが、解約したい…

悪質な業者は様々な手口で消費者に迫ってきます。一番良い方法は、事業者の巧妙な口述に応じず、勇気をもってきっぱりと断るのですが、ついつい話に乗ってしまい契約をしてしまったが、やっぱり契約を解約したい。

そんなときはクーリング・オフといって、契約後一定の期間であれば、無条件で解約する制度があります。

クーリング・オフ期間は、契約書を受け取った日から、その日を含めて8日以内です。

はがきで
クーリング・オフ
をする方法

切手 簡易書留 自分の住所 自分の氏名	○○販売株式会社 御中	○○道○○市○○町○○番地	平成○○年○○月○○日	●●●●●● 契約(申込)年月日 販売会社名 担当者名 商品名 契約金額	※証拠としてコピーを取り 郵便局窓口から簡易書留 扱いで出しましょう。
------------------------------	-------------	---------------	-------------	---	---

右記の契約を解除します。

◎ また、事業者の、悪質な手口で消費者が判断を誤って契約をしてしまった場合などは、その契約を取り消せる民事ルールが、平成16年11月11日から強化されました。

消費者救済のための民事ルール

- ① 事業者が、商品の性能など重要な事実を言わなかったり、嘘を言ったことで、消費者が誤って契約をした場合には、クーリング・オフ期間に関係なくその契約を取り消すことができます。
- ② 事業者が嘘を言ったり、おどかしたりして、クーリング・オフを妨害し、それにより誤解したり、こわくなってクーリング・オフができなかった場合には、期間が過ぎてもクーリング・オフをすることができます。

☆消費者相談窓口☆

- ・ 道立消費生活センター TEL 050-7505-0999 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館西棟2階
- ・ // 十勝相談所 TEL 0155-20-4880 帯広市東3条南3丁目 十勝支庁地域政策部環境生活課内
- ・ 足寄町消費者生活相談所開設 足寄町民センター 毎月第2水曜日 9:30~14:00まで
お問い合わせ先 足寄町役場 住民課 住民室 住民活動担当 TEL 25-2141
- ・ 陸別町消費者相談窓口 陸別町役場 産業振興課 商工業振興担当 TEL 27-2141

情報
INFORMATION

平成19年4月1日から 児童手当制度が拡充されました

○拡充の内容

我が国における急速な少子化の進行等を踏まえ、若い子育て世帯等の経済的負担の軽減を図る観点から、3歳未満の乳幼児の養育者に対する児童手当の額を、第1子及び第2子について倍増し、出生順位にかかわらず一律月1万円となりました。

なお、3歳以上の児童の児童手当の額、支給対象年齢及び所得制限限度額については、現行どおりです。

〈0歳以上3歳未満の児童の養育者に対する児童手当〉 (現行) (改正)

第1子、第2子 月額5千円 → 月額1万円 (倍増)
第3子以後 月額1万円 → 月額1万円 (現行どおり)

〈3歳以上 (現行どおり)〉

第1子、第2子 月額5千円
第3子以後 月額1万円

施行日:平成19年4月1日

(拡充後の最初の支給月 平成19年6月)

※今回の改正では、受給者から特段の手続きを行う必要はありません。

なお、平成19年4月から3歳未満の児童手当等の額は一律月額1万円となりますが、3歳到達後の翌月からは、第1子及び第2子の手当額は5千円となります。

詳しくは、役場町民課担当窓口 (公務員の方は勤務先) にお問い合わせください。

厚生労働省—都道府県—市区町村

本別警察署からのお願い

◎夏期の山岳遭難事故防止

～山登り体力・技量を考えて～

これからの時期、山の雪解けとともに登山やハイキングなどで、山に出かける機会が多くなるシーズンです。

近年、健康ブームや百名山登山ブームなどにより中高年者層の登山者が増え、これに伴い、体力不足や経験の浅い登山者による山岳遭難事故が発生しています。

山岳遭難事故を防ぐため次の点に注意しましょう。

○ 入山前に必ず気象予報を確認し、天候悪化の兆しがある場合は、無理をせず、安全に下山できる範囲で楽しみましょう。

○ ヒグマの出没情報に気をつけるとともに、熊除けのためラジオ、鈴等の音の出る物を携行しましょう。

○ 登山計画書は、必ず最寄りの警察署、交番・駐在所に提出しましょう。また、家族や職場にも、登山計画書の写しを渡しておきましょう。

年金記録の確認について

- 年金記録の確認を希望される方は、社会保険事務所へ直接お問い合わせいただくか、役場町民課でもお取り次ぎをしますのでご相談ください。
(年金手帳、年金証書をご持参ください)

年金移動相談窓口が次の日程で開設されますので、こちらもご利用ください。

7月26日(木) 14時～16時 陸別町役場内

厚生労働省・社会保険庁からのお知らせ

—あなたの年金記録をもう一度チェックさせてください—

この度の年金記録をめぐる問題については、大変ご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

被保険者・年金受給者の皆様には、基礎年金番号に結びつけられている加入経歴を順次送付します。疑問があれば、お問い合わせください。

5千万件の記録を被保険者・年金受給者の記録と突合し、未統合の記録がある可能性のある方には、お知らせします。

社会保険庁や町に記録がない場合には、領収書等の証拠がなくとも銀行通帳の出金記録、元雇用主の証言などを根拠として、第三者委員会で判断してもらうことになりました。

5年の時効を超えた場合でも全額お返しすることができるようになりました。

▽ 社会保険事務所の年金相談ダイヤルは次のとおりとなっております。

「年金ダイヤル」 0570-05-1165

「フリーダイヤル」 0120-657830

乳幼児医療費の助成に関する条例が一部改正

小学校修学前の乳幼児医療に係る助成については、これまで3歳児までが全員、4歳児から小学校就学前の子供については、住民税非課税世帯のみとなっておりますが、この度の改正により全乳幼児が対象になりました。(所得制限有り)

平成18年10月1日発行

北海道最低賃金

644円

特定の産業には、産業別最低賃金が定められています。

ドーンと当てにゃ〜

『サマージャンボ宝くじの賞金は、
1等・前後賞合わせて3億円。』

1等 2億円×42本
前後賞各 5,000万円
2等 1億円×84本

○この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

こころの健康相談

保健所では、次のような心の健康に関する相談をおこなっています。

- ・不眠が続く
- ・ささいな事にも悲観的になる
- ・ひとり言を言ったり、ひとり笑いをする
- ・人と会うのを嫌い、閉じこもりがちとなる
- ・認知症・アルコール・薬物・ギャンブル等についての悩み
- ・その他心の健康に関すること

※個人の秘密は守られますので、気軽にご相談ください。

電話相談（随時）医師による相談（要予約）
電話 0156-22-2108
月～金（祝祭日を除く）8時45分～17時
十勝保健福祉事務所本別支所

陸別中学校地域開放参観日のお知らせ

日時 平成19年7月18日（水）から20日（金）
午前8：40～
場所 陸別中学校

☆町民皆様さんのご来校をお待ちしております。

第21回 参議院議員通常選挙

7月29日（日）投票日

投票時間

- ・役場（第1投票所）で投票をする方
午前7時から午後7時まで
- ・役場以外（第2～第5投票所）で投票をする方
午前8時から午後5時まで

期日前投票及び不在者投票

期間 7月13日（金）～7月28日（土）
時間 午前8時30分～午後8時
場所 役場1階 第1会議室
※期日前投票には、入場券が必要です。

ご不明な点がございましたら、陸別町選挙管理委員会までお問い合わせください。

【陸別町選挙管理委員会事務局 TEL 27-2141
内線181】

アウトドア体験ツアー募集

- ・十勝川でラフティングやカヤックを体験します。

○とき：平成19年8月5日（日）8時30分～16時
（帯広市役所前発着）

○内容：十勝川（新得町屈足、でのラフティングとカヤック 昼食、くったり温泉レイクインの入浴付き

○対象、定員：十勝管内に在住の小学3年生以上
（小学生は親同伴）の方40人

○参加料：中学生以上2,000円
小学生1,500円

○申込方法：はがきに参加する方の①住所②氏名
（中学生は保護者の氏名も記入）

③性別④生年月日⑤電話番号を記入し、〒080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

十勝圏複合事務組合「アウトドア体験ツアー」事務局あてに郵送してください。申込み多数の場合は抽選とします。

- ・締切：7月25日（水）必着
- ・問い合わせ：十勝圏複合事務組合
（0155-65-4227）



環境整備で花を植栽 (6/4しらかば苑)

石橋建設(石橋勉社長)では、陸別川護岸工事を行っています。地域貢献と環境整備の一環としてしらかば苑の花壇に花の苗を植えました。

苗はマリーゴールドやサルビアなどで、社員10人が他の花とのバランスをとりながら丁寧に植えていました。



きれいな花が咲いてます

(6/7保健センター)

保健センター前庭にある2箇所の花壇に色とりどりの花の苗が植えられました。

これは、陸別町女性団体連絡協議会(高木静子会長)の会員がボランティアで行ったもので、参加した20名の会員は一つ一つ丁寧に植えていました。



牛のチャンピオン決定

(6/11育成センター)

38回陸別町家畜共進会が開催され、肉牛、乳牛合わせて35頭が出陳しました。審査結果は、肉牛では庄野良博さん所有のたかこ号が最高位に。乳牛の部では、ジュニアチャンピオン、グランドチャンピオンともに新藤国夫さん所有の乳牛がチャンピオンに輝きました。



遊具で遊んでね

(6/19駅前多目的広場)

駅前多目的広場で、陸別建設業協会(平木道広会長)と同二世会(石橋堂裕会長)、同五月会(小田恵子会長)の会員約20名がボランティア活動の一環として、ベンチや遊具のペンキ塗り、広場内の清掃や草取りを行いました。



車椅子で乗り込めます

(6/21 社協)

陸別町社会福祉協議会（土屋吉勝会長）では、車椅子に対応した小型の車両を購入しました。

この車は北海道共同募金会からの配分金を受け社協で購入したもので、現在ある車両とともに主に病院への送迎用に利用されます。



◇6月3日（日）に中学校の体育祭が、9日（土）には小学校の運動会、17日（日）には保育所の運動会が開催されました。

3日も好天に恵まれ、参加した子供らは日頃の練習の成果を発揮し各競技に全力で取り組み、訪れた父母からは各種目が終わるごとに盛んな拍手が送られていました。

教育委員会では
史跡ユクエピラチャ
シ跡の発掘体験講座
を実施いたします。

移植と草削りを使って、土の色の違いを見ながら遺物を見つけます。遺物は壊さないように。なかなか体験できない講座ですのでぜひ参加してみてください。



遺物は何が出るかな？シカの骨はたくさん出ると思うけど…ガラス玉や陶磁器が出たら大発見になるかも？

史跡ユクエピラチャシ跡

発掘体験 参加者募集

日時 平成19年8月6日(月)・7日(火)
13:00~16:00

※希望日を申込の際にお伝え下さい
(一日でも両日でも可)
※雨天中止とさせていただきます

募集対象 小学生以上(大人も大歓迎です)

場所 史跡ユクエピラチャシ跡(関神社)

参加費 無料

参加申込 陸別町教育委員会(27-2123)

応募締切 平成19年7月27日(金)

※当日は現地集合ですが送迎を必要とされる方は申込の際にお伝え下さい。
役場前からワゴン車で送迎いたします
(12:45役場前集合)

※当日は汚れても良い服装で、軍手、長靴、雨具、タオル等をご用意下さい。

公民館だより

本の貸出期間は3冊
2週間です。

◇一般図書

できるかな クアトロ…西原 理恵子
うちの3姉妹 ④…松本 ぷりっつ
素敵な部屋づくりインテリア基本事典…すはら ひろこ
僕のヘンな彼女を紹介します。…かれし
夜は短し歩けよ乙女…森見 登美彦
お札DEおりがみ公式『ターバン野口』のつくりかた
…いそにし まさお
心霊探偵八雲 SECRET FILES 絆…神永学
前巷説百物語…京極 夏彦



◇児童図書

秘密のとびらレストラン…怪談レストラン編集委員会
丑三つ時レストラン…怪談レストラン編集委員会
まるごとたんじょうび 366日のうらない付
…たき くみこ
七草小屋のふしぎなわすれもの…島村 木綿子
ちびまる子ちゃん短歌教室…小島 ゆかり
ラベルのない缶詰をめぐる冒険…アレックス・シアライ
0歳〜5歳児 水遊び・水泳を100倍楽しむ本
…山本 秀人



◇CD

『シングル』
喜びの歌…KAT-TUN
愛しのナポリタン…トリオ・ザ・シャキーン
睡蓮花…湘南乃風
アルバム
こどものうた…子供向けオムニバス



◇DVD&ビデオ

『DVD』
武士の一分
エラゴン 遺志を継ぐ者
シャーロットのおくりもの



SPORTS TOPICS

第22回教育長杯 町民ソフトボール大会 **結果**

第22回教育長杯町民ソフトボール大会が5月28日から30日までの3日間の日程で町民運動場を会場に開催されました。

決勝はシャイアンチームとRPCチームとの対戦でしたが、16対8でシャイアンチームがみごと優勝を果たしました。

【成績結果】

優勝 シャイアン

(監督 城 昌章さん)

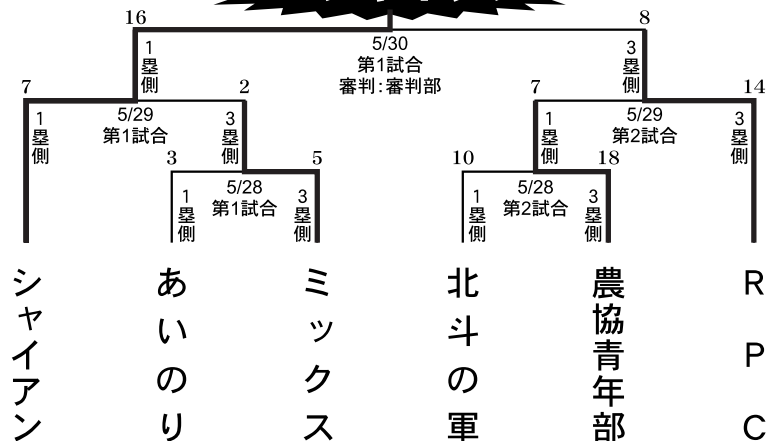
準優勝 RPC

(監督 松浦泰仁さん)



優勝したシャイアンチームほかのみなさん(写真上段左から佐藤肇、小島博士、野尻航平、坂東辰哉、中段左から佐々木正義、高萩将司、後藤和美、星典伸、副島俊樹、下段左から猪狩公教、瀬藤文典、城昌章、)敬称略
(※萩原さんはRPCチーム)

優勝: シャイアン



健康コーナー

108

☆「早寝、早起き、朝ごはん」

最近こんな言葉をみたことがありませんか？これは文部科学省が推進している国民運動の一つです。

子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。

また、子どもがこうした生活習慣を身に付けていくためには家庭の果たすべき役割は大きいのですが、最近の子どもたちを見ると、「よく体を動かさし、よく食べ（食事）、よく眠る」という成長期の子どもにとって当たり前で必要不可欠な基本的な生活習慣が大きく乱れています。

こうした基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。

このような状況を見ると、家庭における食事や睡眠などの乱れは、個々の家庭や子どもとの問題として見過ごすことなく、社会全体の問題として地域による一丸となった取り組みが重要な課題となつていきます。

日本人の小児の食事の現状

1. 朝食のとり方が少ない
2. 間食が多くて、夜食が多い
3. 糖分、脂肪の摂取が多い

4. インスタント食品、スナック食品が多い
5. 食物繊維不足
6. カルシウムが足りない
7. ビタミンB₂不足
8. 肉・鶏肉が多く、魚が不足
9. 食塩が多い
10. 偏食が多い

また子供ばかりではなく、お手本となる大人も同じような生活習慣でいることにより、子供の生活習慣を見直すことが難しくなります。

できることから少しずつ改善を図ること、健康的な体を手に入れることができると思います。

子どもたちの問題は大人一人ひとりの意識の問題でもあり、手がかからなくなつたからと言つて子供の好き勝手にしておくと、子供は自分をコントロールできないので、不健康体になつてしまいがちです。過保護に干渉せず、要所は押さえつけていくことが生活習慣の確立や生活リズムの向上につながるのではないのでしょうか。

簡単そうに見えて実行することは大変ですが、かわいい子供たちが健やかに育つように、できることから少しずつ手助けをしてみたいかがでしょうか。



町民文藝

陸別福寿草句会



葭切よしきりの騒ぐ河原の夕明り

艶子

狩勝を越えれば広き青田かな

君代

夏木立我に歩るける幸のあり

光江

尾根覆ふ視野いっぱいの大夕焼

栄子

万緑に抱れ憩ふ牧の馬

和子

オホツクの潮の香持ちし髪洗ふ

有子

朝曇り大樹際立つ団地窓

いさを

新聞の暗きニュースや籠枕

誠人

佛前に色艶やかな牡丹かな

節子

紫外線気になる季節夏帽子

文子

◇広報写真を差し上げます◇

「ご厚意

ご寄付ありがとうございます

陸別町へのご寄付

□(旧) ボランティアカラオケ会(渡邊孝義代表)から高齢者福祉のためカラオケ用機器一式が寄付されました。

社会福祉協議会

ボランティアセンター(愛情銀行)へのご寄付

□阿部博さん(元町)から



カラオケ機器一式は、ふれあいの郷に設置されました

社会福祉協議会に5万円が寄付されました。

□田中敏さん(元町)から

道町村議会議長会表彰

河本哲士議長

河本哲士町議会議長が、議会議員として長年にわたり地方自治の発展に貢献したとして、6月12日北海道町村議長会(川股博会長)より表彰され、今回6月定例議会の冒頭に山本厚一副議長より伝達されました。

河本議長は、昭和58年初当選以来6期24年間議会議員として、また、平成15年5月からは副議長として活躍しています。



民間活用住宅建設事業補助金の制度延長

平成16年度より貸付住宅等の建設を促進し住環境の整備と住民の定住を計ることを目的として創設された「陸別町民間活用住宅建設事業補助金」が平成23年3月31日まで延長されました。

町内に貸付用住宅を建設する者に対し下記の助成を行います。

この事業は、平成23年3月31日までの期間となります。

希望のある方は、役場産業振興課までご相談願います。

助成対象者・・・個人、個人事業主、民間法人、農業法人及び社会福祉法人

用途・・・・・・貸付住宅及び職員住宅

その他・・・・・・要綱・要領の定めに従いますので、詳細については、お問い合わせ願います。

区分	面積	補助金の額
世帯用	67平方メートル(戸当たり)以上	300万円
単身者用	40平方メートル(戸当たり)以上	180万円

ご不明な点がございましたら、役場産業振興課商工業振興担当までおたずねください。
[電話: 27-2141 (内線132・135)]

過去に広報で撮った写真で整理済みの写真を提供しています。平成5年から13年頃までの写真を役場1階ロビーに置いてありますのでご自由にお持ち下さい。

5万円が寄付されました。

社会福祉協議会に10万円が寄付されました。

□徳光孝夫さん(大通)から社会福祉協議会に5万円が寄付されました。

□平野祥子さん(上斗満)から社会福祉協議会に10

町民のうごき

うぶごえ

瀧口正悟さん52歳 政行さん 美紀さん 新町1区

けっこん

(西岡昌利さん) 6.15 若葉町

(浅川もえさん) 6.22 足寄町

おくやみ

(佐藤大輔さん) 6.22 上登良利

(坂井あゆみさん) 6.22 上登良利

佐藤ミンさん77歳5.31米 町

河瀬洋一さん59歳6.2 新町2区 町

井上三男さん74歳6.13元 町

久古すみさん85歳6.21 共栄第1 町

町の人口・世帯数 19.5.31

人口 2,922人(-13)
男 1,469人(-5)
女 1,453人(-8)
世帯数 1,408戸(-6)

友好町民の会 **166**人(前月比+19人)

ホームページアドレス <http://rikubetsu.jp/>
携帯電話用ホームページ <http://rikubetsu.jp/i/>

お詫びと訂正

6月号広報で村松武範さん旭日双光章受賞とありますが「受章」の誤りでした。また文中の「賞状」は「勲記」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

7月1日現在
交通事故死ゼロ
3,639日

○夏の交通安全運動
7月18日~27日